

東京新聞 TOKYO Web

検索

設定

Satera(サテラ) LBP6030
モノクロレーザープリン
ター A4対応

¥9,801

JUSTIO(ジャスティオ)
MFC-L2750DW モノクロ
レーザー複合機 A4対応

¥31,374

Satera(サテラ) LBP6040
モノクロレーザープリン
ター A4対応

¥11,990

▶×

地域

社会

政治

経済

国際

スポーツ

ライフ

文化・芸能

社説・コラム

イベント

🏠

＜社会編＞アマビエのぼり作ったよ

2020年5月29日 08時29分



「アマビエのぼり」を持つ大下耕之介君（中央）と双子の弟＝10日、鳥取県伯耆町で

鳥取（とり）県伯耆町（ほうきちょう）の幼（おさな）い兄弟3人が、感染症（かんせんしょう）をしずめるといわれる妖怪（ようかい）「アマビエ」をかいた体長約3メートルのこいのぼりを作りました。山のふもとで集落を見守るように、マゴイやヒゴイとともに、風になびいていました。

作者は小学3年の大下耕之介（おおしたこうのすけ）君（8つ）と、保育園児（ほいくえんじ）の双子（ふたご）の弟徳之助（とくのすけ）君（5つ）、福之助（ふくのすけ）君（5つ）。アマビエは、江戸（えど）時代に今の熊本（くまもと）県にあらわれたとされる半人半魚の妖怪で、耕之介君がこいのぼりにすることを思い立ちました。

元美術教師（びじゅつきょうし）の父真史（まさし）さん（39）が白い生地（きじ）に輪郭（りんかく）をかき、兄弟3人で、妖怪の顔と長い髪（かみ）はピンクや朱色（しゅいろ）に、胴（どう）やひれは水色（みづいろ）に、約5時間かけて塗（ぬ）り上げ、祖母（そぼ）が筒状（つつじょう）にぬい合わせました。アマビエのぼりを見た耕之介君は「泳いでくれてうれしい。アマビエにがんばってほしい」と願いをかけました。

関連キーワード

親子で学ぶ

BI

Twitter

Facebook

LINE

関連記事ピックアップ

Recommended by poplin

東京新聞 TOKYO Web

出入国の緩和 前のめり避けて慎重に
(2020年6月29日)



仕事と家庭の両立？そんなうまい話があるかいな 新連載 お父ちゃんやっています！



子どもが頭を打ったら…転んだのに「虐待の可能性」8カ月も離れ離れ 目撃者なき家庭内事故で一時保護



日本遺産に「かさましこ」 兄弟産地、笠間と紡ぐ「焼き物語」
(2020年6月20日)



商店街 メロンと活気「育成中」 葛飾区・堀切ラッキーマー通り
(2020年7月12日)



＜コロナと生きる@いばらき＞提灯で明るく、和菓子でおいしく 「アマビエ」県内でも人気
(2020年6月16日)

子育て世代が
つながる 東京すくすく



STAND UP STUDENTS
いま、わたしたちのまわりで起きていること。



王将 受け師の道 角行 飛車
百折不撓の棋士 木村一基



東京新聞キャラクター
チョウカンヌ



原発のない国へ

https://www.tokyo-np.co.jp/article/31917

1/3